



「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」 土木科・電気電子科・電気科・電子科で開催

令和3年8月1日（日）「技術・知識を地域につなげるプロジェクト」が巖美地区と萩荘地区で開催されました。巖美地区では、前回撮影できなかった宮城岩手内陸地震の震源地を上空からドローンで撮影し、萩荘地区では、萩プロのスタッフと児童生徒24名が関工の家庭科・電気科実習でサイエンスショーを体験しました。

巖美地区のドローン撮影では、地区センターさんが早朝から草刈りを実施していただいて現地に入りました。このデータは今後の震災記録として、開発管理研究所の協力を頂いて、WEB上で作成していきます。関工で開催されたサイエンスショーでは、児童生徒達が6テーマにわたり実験を体験することが出来ました。特に、小学生の発想や気づきは大人を驚かせる場面もありました。最後の、ペットボトルロケットの発射実験では、水しぶきを浴びながらも大盛況で終わることができました。SDGsにおける「持続可能な社会の実現」に向けて、教育の連携をテーマにした関工の取り組みは、一関市（SDGs未来都市一関）と協働ですすめられていきます。次回は、秋頃開催されます。

～ いま 関工がおもしろい ～

岩手日報新聞 R3.8.1



技術の標 ここに在り

